

特異点 K

～海魔触手に占拠された孤島～

謎の大量発生とともにとある孤島を覆いつくした海魔の群れ。特異点解決のために触手まみれの孤島に送り込まれたサーヴァント達の運命は…

- 基本CG 9枚
- 差分 174枚
- テキスト/効果ありなし収録



おやあ？
まだ息があつたんですか？
しぶとらですわねえ

まあここにはもう
用はありませんし
さつさとどめを刺して
先に進むとしますか

ク
ク

ク
ク





ツギ

!?

カ
カ
カ

カ
カ

カ
カ
カ

カ

カ
カ
カ

つて...あら？
まだ動けたんですか
この子達...

流石に小島二つ
占拠するだけの
ことにはある生命力ですなえ

ザル

ザル

ザル

ザ

それで？まさかこれで
このBBちゃんを捕えた
つもりですかあ？

…んっ…全く…
物わがりの悪い子には
お仕置きが必要ですねえ

（それよりも…
少し体が変わ…ですね…
体の奥底から熱が
こみあげて…あつ…
どんどん…熱く…！）

ギィ
ギィ

ギィ
ギィ

ギィ
ギィ

ムズッ
ムズッ



んんっ!!

なるほどで
急に乳首と
クリトリスが!!

ビュッ

イリュ

グ

グ

ビュ

キ



あつ！ちよつと！
そんな汚いもので
触らなひでくれますよ
このつ……！

びん

げぢな

えい！うそ！
体に力が入らない！！

ぽん



これ…もしかして
さつき吹き付けられた
霧状の毒か何かのせい？

全く…低級魔獣らしい
悪趣味さですね！

ビッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

とにかく一度
抜け出して態勢を…！！

アッ…

この……これ！
まずいです！
乳首もクリトリスも
馬鹿みたいに感度が
上がってて……！

やわらかいイボイボ触手で
満遍なく擦られたら
どんどん気持ちよくなる……！

ビクビク

ビクビク

ゴクゴク

ゴク

ゴク

ゴクゴク

ゴクゴク

グチャグチャ

ゴクゴク

ゴクゴク

ビクビク

ほーっ……ほーっ……ほ……ほん……と……
イカされちやうなんて……
くらっ……もう許しません……!

こうなったら徹底的に……!

びびっ

ははは

びびっ

びびっ

びびっ

びびっ

びびっ



!?

ちよ……待つ……!

いつ……今いつたばかりっ!

待って! 止まっっっ……

ガッ

ガッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ガッ
ガッ

グッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ

ビッ
ビッ
ビッ

ビッ
ビッ

っ!





ビッパッ
ビッパッ
ビッパッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ッ
ッ
ッ

ビッ
ビッ
ビッ

oooooooooooo

♡♡♡♡



ギンツ

どうやら少し
気を失っていた
みたいですね…

でも…体の自由は
戻りつつありますし
今のうちに抜け出す算段を
立ててしまひましょうか

はよ

かゝ



!?
またおかしなものを...
ぞわぞわ...

わざわざ
私の意識が戻った
タイミングで
出てくるなんて

ズラリン

ググッ

4





生意気ですね！
そろそろまでもあなた達の
思い通りになんか！

ビクッ

んんんんん
んんんんん

グ
グ
グ

グ
グ
グ





電マ触手で
敏感ま○こイクラう!

ビッ
ビッ
ビッ

ビッ
ビッ

ゴッ
ゴッ

ビッ
ビッ
ビッ

ピッ
ピッ

ゴッ
ゴッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ゴッ
ゴッ

うわっあぁぁぁ
またこんな簡単に...

はーん
はーん

さっきから
イクたびに
体中の感度が
上がっている気が...

はーん
はーん

はーん
はーん

はーん
はーん

はーん
はーん





グイッ

きやうきやう
らやうらやう
それ以上はほんたに
許しませんよ!

ドキッ

100.1

んんんんっ！
だめ！それだけは！

びびっ

体中敏感になつてる
今の状態で
挿れられたりしたら！！

ふちゅんっ

んんんん

ぐぐっ





入ってくるううう！！
どんどん抵抗力
そぎ落とされちゃう！！

ベッベッ
ベッベッ

ズグ
ズグ

ベッ

ベッ
ベッ

ベッベッ



びしょ

乳首を吸って付く

んあつ?!
なんですかこれ?!
また違う触手が!

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

ひらひらうらうら！
ピンピンに勃起した乳首
そんな乱暴に吸われたら
感じすぎちゃいます！

ビクビク
ビクビク
ビクビク

くっ…悔しいの…
耐えられない！
乳首もアソコも
感度MAXにされて…
こんなの無理！

イクイクイク！
イクちやうちやうち！

ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク
ビク
ビク

ビク
ビク
ビク

か
か

か
か



んいすのooon

んいすのooon

んいすのooon

んいすのooon

んいすのooon

んいすのooon

んいすのooon

んいすのooon



ヒッパッ

いん

ま

ッ

ゴッ

グッ

ヒッ

はー

はー

ヒッ

意識：飛ぶ…
おかしく…
なつちやいますち…

ゴッ

また気を失っている間に
今度はこんな
恥ずかしいポーズを…

加えてこんな
下品なポーズに
目も…!!

ふんふん
ふんふん
ふんふん





トキッ

「また……！
今度はいつたの何を……！」

ズルル

ズルル

ひっ…んうら…!!
なっ…なんですか…この感覚…
おちんちんをシコシコされると
腰が…抜けて…!!

こ…これが男の人の…
おちんちんの感覚?

ゴクゴク

ビクッ

ビクッ

ゴクゴク
ゴクゴク
ゴクゴク
ゴク



んんっ!!
やだっ!!おちんちんが
一気に飲み込まれて!!

あつたかいヒダヒダが
絡みついて...
これ...すんぐ...!!

ぶるっ

ズ

!!

ズ
ズ
ズ

どうもごめん
このままではまずいです

一度おちんちんを
引っこ抜いて
魔力の循環を
正常に戻さなきゃ!

スト
ルルルル...

んみつ!?

ビクッ
ビクッ
ビクッ

やつ...ぬつ...
抜けない!?

一番敏感な
カリ首のところが
引っかかっている!?

カ
ク

×

ツ

ビクッ
ビクッ
ビクッ



全く…下品ならえに
厄介なおちんちんですね！

ビッ
ツッ

ビッ
ツッ

グ
グ
ツ
ツ

でもこころは落ち着いて…
できる限りおちんちんに
刺激がいかないよう
慎重に抜かなくちゃ…

グ
グ
ツ
ツ

グ
グ
ツ
ツ

このおちんちんは
射精すれば間違いなく
私の魔力を放出していく
この魔獣たちもそれを
狙っているのだでしょう……

だから……
射精だけは我慢……
しないと……っ！

くっ……ふうっ……！
けど……一番敏感なところが
引っかかっているせいで……
抜こうとするほど刺激が……！

どんどん魔力が
おちんちんに
集まっちゃう……！

ビクッ
ビクッ

アッ
アッ
アッ
アッ

グググッ

ハイッ

クイツ

キキキッ

アッ
アッ



んっ？
何？急に足から
力が抜けて…！！

ぶるるるっ

かっ！

グワッ！

かっ！



えっ!? うそ! やだ!
こ...腰が勝手に!!
ぷるぷる!!

ぷるぷるのぷるぷる
ぷるぷるのぷるぷる

びびびびびび

かか

かか

びびびび

かか
かか

そんなつーまさか
魔力が集まったおちんちんに
下半身の支配権が奪われてる!!

いやっ……この
完全無欠のBBちゃんが
おちんちんなんかだ!

だめだめだめだめえ!
そんなビダビダに擦りつけたら
田ちやう! 射精しちやう!

イクイクイクちやうらう!

ビュッ

ビュッ

フッ
フッ

フッ
フッ

か

か

か

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

ほほおおおお!

イクらー!出るらう!

ぷりぷりの魔力精子
射精しちやうらう!

ハッ
ガッガッ
ゴボッ
ゴボッ

はあ...はあ...
このお!好き勝手に
人の魔力を...!

けどまだ魔力残量には
余裕があります...
おちんちんから体の自由を
取り戻した今のうちに...!

ぷるん

びりびり
びりびり
びりびり



ほあっ!!

やめっ!そこは!
カリ首はだめです!

いつたばかりの
敏感おちんちんの
一番弱いトコロ
くりくりしたらあ...!



くうらうん!!!
また魔力がおちんちんに
集まっできちやう!

こんな低級魔獣の
舌先一つに手玉に
とられるなんてえ……!

くっ……屈辱ですら……!!!
絶対……絶対に許しま……





せんおほおおおっっ!!

びびびび

ぐわ

ぐわ...!

が

が

おっ……おっお尻!!

はうつっ!!何ですかこれ!!
お尻から直接おちんちんの
中身を押し出されるような!!

だめっ!!こんなもの
またすぐ出ちゃいます!!

悔しいのに!

出したくないのに!!

おちんちん

イっちゃいます!!



んほおおおおおお!

イクイクイクウ!

ビク

ビク

触手にお尻ほじられて
強制魔力放出
しちゃいますうう!

カ

カ

ビク

ビュ

ドビュ

ビュ



はーっ...はーっ...
おちんちんの魔力射精
気持ちよすぎて...

私...魔獣たちの
魔力タンクに
なっちゃいますら...





よ…弱りましたね…
壊れた壁の修復に
触手が集まってくるなんて…

ギィッ

たぶっ

ギィ

完全にはまって
しまったようです…



…壁に空いた穴から
他のエリアの探索に
向かおうと思ったのですが…

ギィッ

ググッ…







だっ...だめえ...!!
お尻がこれ以上
動かせない...!!

どうしよう
逃げられない!

抵抗したくても
壁の向こうで
手が出せない...!!

はあッ

はあッ

うっ...うそ...
私...こんな情けない
恰好で...い...
イカされちゃう!



ガッガッ

ガッガッ
ガッガッ
ガッガッ
ガッガッ

ビクッ

グイッ





びびびび

アッ

おっぱいもアソコも!
イきっぱなしに
なっちゃいますわ!

もう...イってるのに...!
こんな続けてされたら
おかしくなっちゃう!

ジュルル

グググ



ギョギョ

カッカッ

グググ

とやうぞ!!
とやうぞ!!



グ
グ
グ

これは……
思ったより面倒だな

トリムマウとも
はぐれてしまったし
1人で抜け出すのは
手間がかかりそうだな……

グ
グ
グ

グ
グ
グ



ドキッ

うわっ！—！よおおおせー！
そんなものを
近づけるな！

んんん

ビュッ

んんん……
き……気持ち悪らー！
一体何のつもりで
こんなことを……

ちゅん



ビクッ

んああっ!!
なっ何をしてる!!
そんなところ
擦っちゃだめだ!

ビクッ

グッ
グッ
グッ
グッ





びしょ

びしょ

はっ

はっ

はっあり...んぞ...
こんな...
気持ちよくなるっちゃ
だめなのよ...

びしょ

カッ

カッ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

ぶい
るるる

んん!!
ちよつと待て!
なんで...こんな時に...
急におしっこが
したくなるなんて...!

この不快感を
紛らわすために先ほど
飲んだ紅茶のせいかな?

ぶい
キキキ
キキキ

キキ
キキ

ぬち
ぬち

が
が

ッ



い...いやだ...
こんな低級魔獣に責められて
おしっこ漏らしちゃうなんて

が...我慢しろ私!
イっちゃだめだ!

今イったら...
おしっこが...!

だめ...
だめ...
だめえ...!

ビクッ

ビクッ

ビクッ

グッ
グッ
グッ

グッ

ビクッ

グッ

グッ

グッ

グッ
グッ



はああっん！

イっ！！イッ！！
イっちやう！

いっ！！いっ！！

かっ
かっ
かっ

いっ！！いっ！！



ぶるっ

ふっ...うう！
くっ...漏れちゃう！
足が閉じられなから
余計にアツコに
力が入らない！

も...
お...
お...
お...

アッ

アッ

ぶるっ

ビッ

ビッ

ぶ

るるる

ニッ...

4
イヤ...



ふらふら

はー...はー...
うぐす...
私としたことが...
なんて失態だ...

はー

はー

びしょ

ふら

ふら

びしょ

びしゃ

ドキッ
うああ!!
やっやめる!
それ以上は許さなからな!

ズイッ



んんっ…なんだ？
そんなグロテスクな
物を近づけるな！
気色悪い！





ぐふふふの…
調子に乗って！
だが今のうちに
新しい礼装の準備を…！！

ツツ
ツツ
ツツ
ツツ

グ
グ

グ
グ

グ
グ
グ





ヒョーン

んんんっ!!!
やっ!やめる!
そこはだめだ!

ツツ
ツツ

ツツ

ツツ

ツツ
ツツ

ツツ
ツツ



ヒッパッ

ヒッパッ

ツツ

ツツ

ツツ

うぐぐ...だめだ...
上も下も激しすぎて
集中力が...!

悔しらの...
体が言うら...
きかなら...
このままに...!

ヒッパッ

ツツ

ツツ

ヒッパッ

ツツ





ビクッ

うらら...げほっ
おえ...はあ...はあ...

ぐ...まったく...
なんて様だ...

ビクッ

ビクッ

グッ

ドォ...

ビクッ

こんなものか：
マスターも深部までは立ち入れぬ
厄介な特異点と聞いていたが

数が異常なだけで
雑魚ばかりではないか

ゴ
ク
ッ

ク
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ



どうした？
まだ抵抗する気力があるのなら
せめてお前たちの親玉を
呼んで来てほしいものだが

その方が探す手間が
省けるのでな

ビュ
ビュ

グ
グ

ゴボ

っ!?
なんだ? 痺気?
こんなもの...



まだ隠れていたのか
……これは……



ふん…
不意打ちのつもりか?
ござかしら

はあ
はあ
はあ

この程度で
余を出し抜いたとでも?

(それにしても…なんだ?
体が急に火照って…
んっ…それにこの感じは…?)

ドク

ドク



!?

なっ何だ!?

ビッッ

ビッッ

ビッッ

急に乳首と陰核が!!
それに...ぐっ!!
四肢に力が入らない!!

まさか先ほどの
瘴気の効果か!!

キッ
ッ
ッ

キッ
ッ

ビッ
ッ
ッ

グッ
ッ





こいつら...!
雑魚の分際で
ふざけた真似を...!

なめるな!
この程度の拘束や
身体の異常など
余にかかればすぐたでも...!

ぐっ…落ち着け！
体の自由が奪われたとて
周りは雑魚ばかり！

ここは一度
魔力開放で強引に
態勢を立て直す！

まずは精神を
集中して…

…集中…

…しゅら…ちゅう…！



だっ…だめだ!

敏感になつた
乳首とクリトリス
いじられながらでは
魔力の流れが乱れて…!!

ビクビク

ビクビク

くそ!このままでは
イカされる!
こんな雑魚どもに
獅子王ともあろう余が…!!





ビクッ

ビクッ

は
は

は
は

はあ...はあ...
ぐ...余としたことが
こんな雑魚相手に醜態を
晒してしまおうとは...

びん

あつ!?!この…!
調子に乗りおつて!

貴様らの勝手もそこまでだ!
余の怒りを買ったことを
存分に後悔させて…!!

ド
キツ

グ
イッ

ズ
ル
ル





おおおおおお!!

ビク!!

奥にい...!!

キ

キ



し...しかし...これは...
どうなっている...?
尻の穴なのに...なぜ余は
こんな...こんな...!

あつ...あつ...
こいつ...なんて所に!

ギ
チ

ギ
ギ

ビ
ビ

グ
グ

グ
グ



余が…一度ならず
二度までも…

ビ
ッ

は
あ

は
あ

はあ…はあ…はあ…
こんな…

ビ
ッ

ッ
ッ

…ロ…



あつ!

びびびび

よせ! まだ
抜いてはならん!

今...抜かれたら...!

びびびび

びびびび

くぐくぐっ
尻穴に大量に射精
されたせいで...

は...腹が...!

ぶるるる

ギョッ

アッ

グロ
グロ
グロ...

グッ

グッ

た...耐える!!
これ以上この雑魚どもの前で
痴態を晒すなど言語道断!!

こいつらを倒しきるまでは
絶対に...

はらりっはらりっせー！
やめるー！

ビクビク
ビクビク

我慢限界のケツ穴
そんな細かく刺激したら……

だめだ！出る！
出てしまおう！

ビクビク

ぬぷ
ぬぷ
44

11
7



ぐっぐぐぐぐ
解けん！まだ
四肢に力が入らぬか！

どうにかこの状況を
打開できぬものか……！

たぶん



その何かが
余の腹の中で勝手に
魔力を喰らって成長し
用が済んだから
出ていけやあいつのか...

ぶるっ

モッコ

グワ
グワ
グワ

おのれ...誰が
魔獣を排泄など
するものか...!!
奪われた魔力も
返してもらおうぞ!

はっ
はっ





ひゃらっ!

なっ...よせ!
今はだめだ!

びびびび

びびびび

びびびび

びびびび



調子に乗るぞー

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

ヒッ

手足が使えずとも
貴様のごとき雑魚など
余の魔力で一息に!!!

び
るっ



だめだだめだ！
限界のケツ穴細い触手で
高速出し入れされたら
我慢できなくなるうう！

ビクビク

ビクビク

ビクビク

ぬぬぬぬ

ビクビク

ビクビク

ビクビク

はあっ！はあっ！
ぐわっぐわっ！
おのれさ！

いやだー出てしまっ！
もうっ！限界い！

ハリュッ

ぐわっぐわっ
ぐわっぐわっ
ぐわっぐわっ





ゴゴゴ
ゴゴゴ

出る！ケツ穴から
ぶつとい触手出るう！
イクらう！

ジュジュ
ジュジュ
ジュジュ
ジュジュ
ジュジュ

ピッピッ
ピッピッ

はっ……んあつ……
む……胸が熱い……
妙な感覚がどんどん
膨れ上がって……

ビクビク

何か……
あつ……

んん

ドクッ

んんんん
んんんん



ああああ!!
そ...んなつ!!
余の胸が!!
こんな大き...!!

はっ!!

んんん



しかもこれは…
大きくなっただけでは…
すごく…張って…
乳首も疼いている…!!

ビュッ

はぁ

はぁ

まるで何かを
期待している
かのようだ…

じゅん

ルン…



つてはなななにを
馬鹿なことを！
気をしっかり持て！

ビーン

ギーン

くそ！貴様！
勝手に余の胸に
近寄るな！

Vロオ...

たぶろふ



はっはっはっ
よっよっせー！
吸いなー！

ビクビク

んんっ…
歯を立てながら
吸うのをやめる！
こりこりするなあー！

ムダダダ…

ククク

ムムム





ビッ
ブッ
ツ

んばああ!!

し:尻にも
何か吸い付いてる!!

グ
エ
ゴ

グ
グ

グ
グ

グ
グ
グ



ほ？おおん！
吸い付いたまま
舌を出し入れされて！

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

ビクッ

キッ
キッ
キッ

キッ
キッ
キッ

ケツ穴責めでまた
強制的に便意
催してしまおう！

キッ
キッ
キッ

キッ
キッ
キッ

キッ
キッ
キッ



んああああ!!
やめえ!はあん!

ゾクゾクゾクゾク

1'0 1'0
1'0 1'0

ぶるるるる

ケツ穴の奥
なめまわされたら
腹が!おうつぐ
腹が苦し〜!

1'0 1'0

1'0 1'0



おほおおおお♡♡

ヒッヒッヒッ

ケツ穴から
魔獣ひり出して
またイグうう!

ドッパッパッ

ジュジュジュ



はあっ...はあっ...
やっお...のれ...
こんな...ことが...

余の魔力が...
こんな魔獣どもにも...

ビッ
ビッ

ビッ
ビッ

はっ
はっ

はっ
はっ

ビッ
ビッ

イッ
イッ

ゴッ
ゴッ

ビッ
ビッ

ビッ
ビッ

たぶっ

ギッ

参ったな！
魔人さんとしたことが
捕まってしまったようだ

今はマスターとも
連絡がとれないから
自力で抜け出すしかないか



んあっ!?

ヒューッ

ヒューッ

1"

チビッ

びびっくりした...
なんだ? 股間に
別の触手が...?



んん…
何のつもりか
知らないが…

結構
気持ち悪いぞ…
離れろ！

くっ…腰を
押しでも引んでも
押し付けてきて…
こんなもの…！

キ
ッ
ッ

キ
ッ
ッ

グ
イ
ッ

グ
イ
ッ



…な…
なんだ…今のは？
今まで感じたことのない

甘い痺れのような…
けれど…少し…
心地よいような…

ピクッ

グッ

ググッ



あつ♡
これ…んっ

触手のイボイボに
アソコを擦りつけるの…

ピンッ
ピンッ

はっ
はっ

気持ち…いい…のか？
アソコが擦れるほどに
変な感じが大きくなって…
もつと…したくなってくる…

かっ
かっ

かっ
かっ

グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ



あつ...しまつた...!!
また新しい触手が...

今度は...乳首に...
何なんだ...さつきから
おかしなところばかり...!!



んんんっ…これ…
だめだ！乳首を弄られると
さらに気持ちよさが
抑えられなくなる…！！

こ…こんなことを
している場合ではならぬ…！！
腰…止められない…くるっ…！！

身体の奥から…
何か…来て…しま…！！





ウウウウウウ
ウウウウウウ

ウウウウウウ
ウウウウウウ

ウウウウ
ウウウウ

ウウウウ
ウウウウ

ウウウウ
ウウウウ

ウウウウ
ウウウウ

ウウウウ
ウウウウ

ウウウウ
ウウウウ
ウウウウ
ウウウウ

ウウウウ

はあ...はあ...
何だったんだ...今のは...
気持ちよかったけど...

まずい...
体に力が...

はあ

はあ

ぷる

たぷ

ぽん

ぽん



ひゃんっ!!
今度はなんだ!

ヒューッ

やめる!
乳首もアツロも
あつきのので
変な感じに!!

くっばっ

ズル...

4/4₂

ズル...





ビクッ

んあぁっ...

ズッ

ズッ

ビクッ

ビクッ

ズッ

ズッ

はう……んん！
また……この感じだ……

アツコの方も……
さつきよりも
ずっと強い快感が……！
まずい……流される……！

こんなおぞましい触手に
乳首を吸われているのに
気持ちいいなんて……！



く…気をしつかり持て！
これ以上好きにさせて
たまるものか…！！

魔人さんにかかれれば
このくらい力づくで…！！

ギッ
ギッ

ギッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

アッ
アッ

ひやっ!!

ビッ
グッ

なんたのどこを弄って...?
だめだ!よくわからないが
そこはだめだ!

ビッ

グッ

グッ





ビクビク

んおおっ！
イクらoooo!!!

ビク

ビク

ガッ

ッ

ガッ

はー...はー...
こ...こ...の
初めてだ...

うう...
抜け出せなく
なっちゃいます...



うえ~~~~んっ！
こんな数に数があるなんて
聞いてないっ！

なんで私が
こんな目にいっ！



ちゅちゅと！
変なとこ
入っちゃうだ！

ビュッ
ビュッ

うう...
近づかないでよ
気持ち悪い！

グ
グ
グ

グ
グ
グ



んっんっ…ぢゅめ！
く…苦し…！
気持ち悪い！

前後に激しく動いて
何のつもりよお！

くく

しゅぶぶ
しゅぶぶ

んん

んん

ぐんぐん
ぽぽ

こ…こんななの…
ちよつと感触が嫌だけど
噛みついてやれば…！
このっ…このお！



んっ!?

何?やだ!
おっぱいと回の中で
びくびく暴れて…!

びくびく

しかも…
膨らんできている!!
ちよつと待って!
抜いて!抜いてよお!

びくびく

びくびく

びくびく



何から何の回数の中に
何から何の回数の中に
何から何の回数の中に



はあ...はあ...
ら...ら...ええ...

あつ...ぐす...
辛い...気持ちわるい

はあ

ドロ...

はあ

ほんとに
なんなのよお...





びしょ
びしょ

びしょびしょ

びしょ

あつ...やだ
おっぱいが!

びしょ
びしょ
びしょ

びしょ
びしょ
びしょ

ぐっ…また
気持ち悪いのが
寄つてきた…!

ゴ
ッ
ッ

これ以上何か
される前に
とりあえず脱出を…!

グ
ッ
ッ

あは
…

ず
る
る



らやあぁあぁん！

そ...そこはだめ！

びん
びん

おっぱいは
だめだつてばあ！

おっぱい

びん

びん



あつん……らや……
おつぱらば弱らからー!
あつあつ……!

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

そんなイボイボの
触手で揉みながら
吸っちゃだめえ……!

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ

ビュッ
ビュッ





はらりっ!

今度はアツコロに!!

びしょ

びしょ

はらり

びしょ

びしょ

びしょ

ぎやあつ！

す……ストップ！
一旦休ませてよ！

ビクッ

これ以上はもう……！



んんんんん！
ちっっ…乳首…
だめえ！

私が気持ちよく
なるほどおっぱいも
沢山出ちやうのバレてる！

ビグッ

ビグッ

ビビビビビ

グッグッ

私の弱いとこ
いじめまくって…
こんなのだめえ…！また…
またおっぱいイっちやうう！

ビビビ

グッグッ

グッ

グッ

グッ

ビグッ

グッ



んあっ...はうん!
イクらう!

おっぱいびゆるびゆる
しながらまた
イツちやうらう!





























































































































































































































































































































































